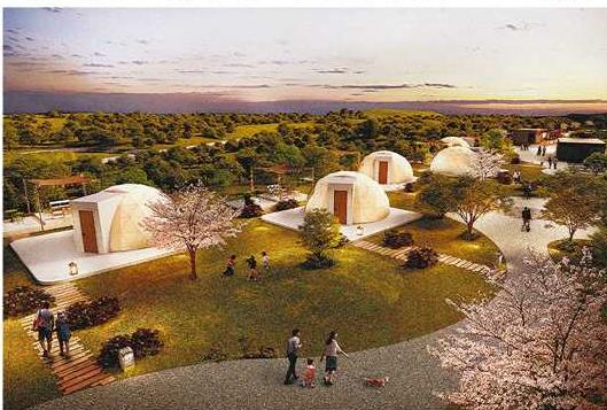


# 手ぶらBBQ BMX楽しみ



12月に開業する木曾川前渡南公園の全体図 ② デイグラランピングエリアのイメージ図=いずれもスペース提供



鎌入れをする浅野市長と熊田社長=各務原市で

## 各務原 12月開業予定の公園起工式

各務原市が前渡地区の木曾川右岸に整備する「木曾川前渡南公園」の起工式が15日、建設予定地であった。競技用自転車のBMXパークや、手ぶらでバーベキューができるデイグラランピング施設、軽食を提供するドリンクスタンドを設ける計画で、敷地面積は2畝。12月の開業を予定する。

市は整備費として、本年度予算案に2億4822万円を計上した。整備と運営では、民間のノウハウやアイデアを取り入れようと、公募設置管理制度（Park-PFI）を活用。

蔦井（名古屋市）、オノコム、スペース（いずれも東京）の3社でつくる「各務原トライアングル共同企業体」を選定した。

起工式には市と3社の関係者ら23人が出席。浅野健司市長と施主の熊田光男・蔦井社長が鎌入れをして、事業の成功を祈願した。浅野市長は「にぎわいが必ず生まれるだろう」と期待。熊田社長は「地域の人に、この共同企業体を選んで良かったと思ってもらえるよう取り組んでいく」と力を込めた。

（中根真依）